



「岩殿寺・利生堂」 絵 保坂 佳生

### 『道』

パリの街は凱旋門を中心に四方へ放射線状に伸びたいくつかの道路の内側に作られているといえます。逗子の道はどうでしょうか。

# 逗子の景観まちづくり

## 瓦版 第六十五号

二〇一九年十月十五日 次号は一月発行予定

編集 逗子市環境都市部まちづくり景観課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百五十文字以内の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり景観課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.lg.jp



「イチョウ」 絵 小林 登志子

海岸沿いに通る国道134号線。鎌倉方面と葉山を結ぶ県道。山の根とJR線の間を六浦金沢方面に通る県道。いずれも逗子の街を横切るように通っています。そして、JR逗子駅前から放射線状に出ている道。

まず、みずほ銀行の手前を右に真っすぐに伸びている「なぎさ通り」。次はマクドナルドと横浜銀行の間をななめ右へ伸びている「銀座通り」。「八幡通り」は八幡様、市役所の横を通って京

浜急行の踏切を通り、少し先の延命寺の前で「大師通り」と合流します。大師通りは魚佐治を左に見てすぐ京浜急行踏切りを渡り、左手に延命寺、先へ進んで東逗子船越トンネルを抜けて田浦へ出ます。次は水道路、この道の下を横須賀方面への水道管が通っている。これらので水道路。これらの道を横に結ぶ小道があります。

車が入らない狭い道をくねくねと曲がるにまかせて歩いていくと、突き当たりとなり、もと来た道に戻ることになる道。右に左に折れて行くと思いがけない地形にポツと出る道。家の軒下をくぐるような

細い道では家族の何気ない会話が聞くともなく耳に入ってきたり、目かくし塀の下に植えられた石路（つわぶき）の黄色い花が輝く冬、門の側の夾竹桃（きょうちくとう）が夏の光を跳ね返すように濃いピンクに咲いている家。

目的地向かって真っすぐ行くのも道ですが、あてどなく右左と道の折れるにまかせて歩く時間の浪費も最高の贅沢。こうした小道もセットバックで道幅が拡がり、舗装され形を変えていきます。この文章も思い出話になっていくことでしょう。了

文 小林 登志子

# 逗子の景観を考える vol. 21



「逗子の景観を考える」では、逗子の景観を保全し、はぐくみ、形成するための市の取り組みを紹介していきます！



## 景観計画推進プランってなに？ 3

前回の瓦版では、逗子らしい美しいまちを育てるために策定した「景観計画推進プラン」のうち「公共施設・公共空間」についてご説明しました。今回は具体的な取り組みの2つ目「民間施設・商店街」について紹介します♪

### 今回のテーマ 民間施設・商店街

景観条例の手続き対象となる開発行為や建築行為については、逗子らしい景観形成の規範となるよう、外壁色や植栽などについて、条例に基づいた指導を行っています。

特に景観上重点地区に指定されている逗子駅・東逗子駅周辺の商店街は、安全快適に買い物等ができるにぎわいの歩行空間ある街を目指し、放置自転車や無秩序な屋外広告物に対して対策を講じることで、良好な景観形成を図っています。

また、歴史的景観保全地区に指定されている住宅地（逗子

海岸周辺）では、海浜の保養地・別荘地としての歴史的たたくまいを維持・継承するよう普及啓発を進めています。

### <9月10日は屋外広告物の日>

屋外広告物のパトロールも景観アクションの1つです。今年は市と東京電力パワーグリッド(株)で協力して逗子駅周辺のパトロールを行いました。



電柱に張られたステッカーを剥がしています。

## 「第14回 湘南邸園文化祭 2019」開催中



9月13日から12月15日まで

湘南エリアは明治期から別荘や保養地として、政界や財界、文化人が滞在し、交流の地として発展してきました。邸園文化祭は、この地域の歴史や文化を育んできた歴史的建造物や邸園の保全活用や地域活性化を目的として開催されます。

詳細は「湘南邸園文化祭 2019」で検索ください。

## 逗子文化の会企画

### 「逗子の別荘邸園を散策し、近代逗子の歴史をたどる」

10月19日(土) 11:00 集合

かつて別荘があった逗子海岸近辺を、案内人とともに散策します(要申し込み)。

蘆花記念公園内にある旧徳川家別邸(現逗子市郷土資料館)と、旧藤瀬・脇村邸は1日限りの一般公開。邸園では関東学院大学学生有志によるカフェも併設します。

申し込み・問い合わせ/bunkanokai@gmail.com



## まちなみの認定・表彰制度を始めます

みなさんは「まちなみデザイン逗子」を見たことがありますか？市と市民団体「ほととぎす隊景観部会」が共同作成した冊子には、逗子の景観について考え、逗子の景観を守り育てていくにはどうしたらいいか記されています。

まちづくり景観課ではより「まちなみデザイン逗子」を広め、また市民のみなさんに「まちなみづくり」について意識してもらうために、「まちなみデザイン逗子の実践スポット認定」を始めます。その名のとおり、まちなみデザイン逗子を実践しているものに認定を行い、さらにその中でより優れていると認められるものに「表彰」を行うという制度です。

<認定対象を募集します>

募集開始：2019年11月中旬頃～

募集対象：まちなみデザイン逗子を実践しているもの(家の外構・ポケットパーク・美化活動など)

★認定された方には**表彰状・認定プレート**をお渡しします。(2020年度予算成立が前提)

詳しくはまちづくり景観課のHPをご覧ください。

※随時情報を更新します。

まちなみデザイン逗子 認定 検索



## 瓦版編集担当 逗子市環境都市部まちづくり景観課

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は逗子市庁舎一階、まちづくり景観課窓口、市民交流センターに配架しています。



逗子市HPやフェイスブックも見てね！